

下水処理場における地域バイオマス利活用マニュアル

第1章 総則

○背景

下水処理場において地域バイオマスを受け入れ利活用することにより地域資源を有効利用し、**地域内循環の全体の最適化**を目指すことが期待される。

○本マニュアルの目的

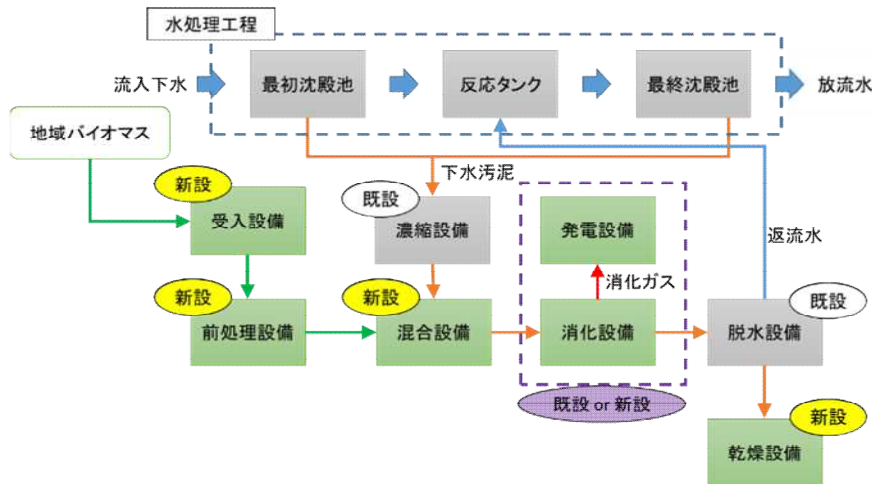
地方公共団体の実務者が**地域バイオマス利活用の導入検討にあたり必要となる事項(事業採算性の検討, 前処理方法, 法的手続き等)**を整理, 提供することで検討を促進することを目的とする。

第2章 利用可能な地域バイオマスの種類

下水処理場での利用が可能と考えられる地域バイオマスのうち、**生ごみ, し尿, 浄化槽汚泥, 農業集落排水汚泥, 家畜排せつ物, 剪定枝等, 農作物非食用部**を対象とし、発生量・利活用の現状、性状、廃棄物処理法における分類について整理する。

第3章 地域バイオマス利活用技術

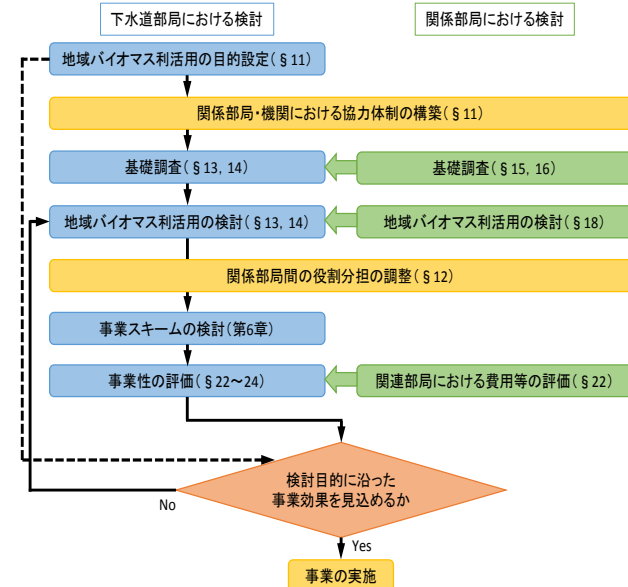
地域バイオマス利活用に必要な、**受入設備, 前処理設備, 混合設備, 利活用設備**の概要を整理する。



地域バイオマス利活用の基本フローの一例

第4章 地域バイオマス利活用の検討

地域バイオマスの利活用を検討するにあたってのフローを提示し、**各プロセスの概要及び留意点**を整理する。



地域バイオマス利活用の検討フロー

第5章 関係法令・制度

地域バイオマスを利用するにあたり、**関係する法令・制度及び必要となる手続き等**について整理する。

第6章 事業手法

地域バイオマスの利活用において、**適用可能な補助事業及びPPP/PFI等の民間活力を活用した事業手法**について整理する。

資料編

○ケーススタディ

中小規模(6,000~30,000m³/日)の下水処理場を対象とした4つのケーススタディにおいて、地域バイオマスを受け入れ利活用する場合の経済性及びGHG削減効果を評価し、整理する。

○バイオマス利活用事業の先事例

下水処理場を活用した地域バイオマス利活用事業の先事例を紹介し、事業実施の背景と目的及び課題を整理する。